

7月 園だより

<教育目標> ・元気に遊ぶ子ども
・豊かに感じる子ども
・考え工夫する子ども

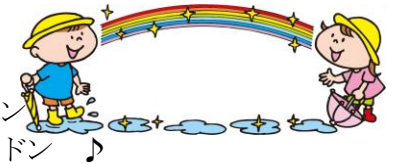
R3. 6. 30 文京区立本駒込幼稚園



体験から学ぶ

園長 藤田 智子

♪ ながぐつ履いてるね ドンドン ガボガボ歩こうね ドンドン
どろんこ道でもさ ドンドン ほら平気で歩こうよ ドンドン
ながぐつ履いてるね ドンドン ガボガボ歩こうね ドンドン
みずたまりでもさ ドンドン ほらみんなで元気よく ドンドン ♪



雨の日、年中さくら組の保育室から子どもたちの楽しそうな歌声が聞こえてきました。『ながぐつマーチ』（上坪マヤ 作詞・峯陽 作曲）は、雨の日の水たまり、どろんこなど、子どもたちがわくわくする要素が詰まった楽しい歌です。

梅雨の時期に雨を楽しむ子どもたちの姿は生き生きとしています。特に雨上がりの園庭には、水滴の付いた木々、湿った砂場など魅力的な環境が揃っています。思わずやってみたくなる水溜りの中でのジャンプを楽しんでいる子どもたちを見てみると、自分自身が子どもの頃に楽しんだ雨の日の出来事を思い出します。泥水を砂場のコップですくって大好きなコーヒー牛乳をたくさん作ったこと。粘土質の土の上を走ると滑ることを発見したこと。雨に濡れた傘を思い切り回転させるときれいに水滴がとんでいくのが楽しく、まわす速度で飛び方が違うことを発見し、繰り返し楽しんだこと。雨の日の空気の匂い、雨上がりの湿気など、五感を使って体験することによって発見したことや感触や感覚は、大人になってもしっかりと覚えているものです。

以前、ノルウェーの小学校を訪問した時のこと。その日は、雨が降っていたのですが、休み時間になると、子どもたちは、廊下にある各自のロッカーの所で防水機能の優れた雨具を着て、次々に校庭に飛び出していました。校庭では、雨の中、鬼ごっこをしたり、滑りにくい加工がされた固定遊具で遊んだり、木の枝を揺らして水が落ちてくるのを楽しんだりしていました。雨の日ならではの楽しみ方を十分に味わう姿が見られました。ノルウェーでは、天候にかかわらず、室内だけでなく外での遊びも楽しむことが多いということを、その学校の先生から伺いました。雨の日でも、晴れている日と同じことをすることで、天候による環境の違いを感じ、様々な発見をしたり、その天気ならではの楽しみ方を見付けたりしているそうです。生活の様々な場面で、実際に体験し、感じ、感じたことを感覚として自分の中に取り入れていけるようにしているということ、体験する中で学習したことを土台に自ら学ぼうとする気持ちを育てているということをお伝えいただきました。

生活に必要なことや情報を知識として知らせることも大切ですが、実際の体験を通して感じることや気付くことも大切です。本駒込幼稚園では、体験を通して学ぶ、体験を通して身に付けることを大切にしながら日々の教育活動を行っています。やらせるのではなく、やってみたいという気持ちをもって自分から取り組めるように、そして、やってみたいと感じて取り組んだことを深めたり、さらなる興味や挑戦につなげたりしていくことができるよう、環境を整え子どもたちの活動を支えています。

明日から7月です。砂場での水遊び、色水、舟作りなど、五感を十分に使って楽しむことのできるこの季節ならではの経験を思い切り楽しめるようにしていきたいと思えます。今年は、プール遊びが実施できるようになり、夏祭りもさつき会役員の方々と話し合い、現在の状況の中でも実施できる方法に変えて行うことになりました。園公開も、緊急事態宣言の状況に合わせて予定を変更させていただきましたが、保護者の皆様がその都度対応してくださっているおかげで、実施することができています。ありがとうございます。そして明日は、六義園に飾られた七夕の短冊を年長組が見に行く予定です。年度当初の予定にはありませんでしたが、良い機会ですので、子どもたちの豊かな経験の一つとなるようにしていきたいと思えます。今後も状況に合わせて子どもたちが楽しめる活動を加えていく予定です。なかなかコロナ前と同じというわけにはいきませんが、縮小方向にあった教育活動を少しでも良い方向に開いていく工夫を続けていきます。とはいえ、まだまだ感染症対策は万全にしていかなければならない状況ですので、油断せずに感染症予防対策をとりながら教育活動を行います。その時々でのご協力いただくことも多いことが予想されますが、ご理解、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

